

# 明るい平和な町に

## 水俣市民協議会が発足

水俣町開町の早期解決とチッソ水俣工場の新五カ年計画の遂行を望む水俣市民の声が高まってきた。折り、地元各団体による「水俣市発展市民協議会」が二十五日満足、二十九日に午後一時から市立体育館で市民参加の盛大な市民大会を開くことになった。

同協議会発足のチッソ五カ年計画と、超人となり、商議所、金庫協会、観光協会、チッソ下請け協力会、旅館組合、建設協会、婦人会など約三十団体に呼びかけて結成した。結成の理由は「チッソと正に相対した水俣市はかつて人情味豊かな町であった」というもの。

な開るい平和な町だった、ところが三十七年の大争論を境として何か狂いはじめ、いまではかつてのおもかげなどみられない町に変わってしまった。以来水俣市に問題があるたびに不必要なトラブルを巻き起こし解決を困難にしている。この現状が各団体の水俣問題にも端的に現われ、いまだに病気が発生しているかのような印象を内外に与えたことは観光、漁業面など水俣市経済に大きな打撃となり繁栄の途上にある同市に暗い影を投じている。そこでこの問題を解決するため第一に水俣問題者を全面的に支援すること、第二にチッソは再建五カ年計画を計画通り遂行することの二つを柱として政治的でない純粋な気持ちで全市民が一丸となり、その意見を結集して積極的行動をもつ

て水俣に蓄積された病弊を一掃し、同時に信用を回復し、再び明るい前途ある水俣づくりを達成しようというものである。

二十五日は午後三時から朝日生命ホールで各種団体代表約五十人が出席して準備委員会を開き、午後七時すぎまで今後の具体的な活動方針などについて協議、同会としての決議書を作成した。決議書の内容は次の通り。

①水俣病被害家庭互助会に対し誠心誠意をもって支援する。市、県、国は被害者救済のため医療体制の強化および福祉施設などを整備すること。②チッソは水俣問題者家庭互助会に対してきりきり限りの援助をすること。③チッソは二度とこのような状態を繰り返さないよう万全の策をとること。④チッソは地域社会に対する責任を全うすべく

水俣工場の再建五カ年計画を達成し、市民とともに繁栄する企業になること。⑤市民が一言心配しているチッソの問題組合はこのさいこれまで行きたがりを捨て、手を握り水俣市繁栄のために協力してもらうこと。⑥公断として認定される現段階で、このさい水俣病という言葉を除くべきこと、およびいままに水俣病が発生しているかのような印象を解くよう厚生省ならびに一部報道機関に要請する。